

学校教育目標

努力 友愛 責任

【経営の理念】 「明日もまた学校に行きたい」とどの生徒も思える学校

- 目指す学校像1 智を磨く授業が展開される学校
- 目指す学校像2 生徒が抱える様々な課題を授業で解決する学校

【経営の概要】

《学校づくりのねらい》

「魂智和」を合言葉とする学校づくりと、「協働的な学び」を軸とした授業実践を通して、学ぶ力を高め、自律した生徒を育成する

- 「協働的な学び」＝「聴く・問う」から始まる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと*互恵的とは互いの状況を把握して共感的にかかわること
- 「自律した生徒」の中核は、よりよく生きるために、いつでも・どこでも・誰とでも学びに向かうことができること

＜学ぶ力＞わからないと言える・一緒にやろうと言える
友達の声に耳を傾ける・納得するまで追究できる

《目指す生徒の姿：『自律した生徒の姿』》

- 魂を込めて事にあたれる生徒
「プライドファイブ」を誇りに生活できる生徒
- 智を磨ける生徒
協働的な学びによって課題を解決していかれる生徒
- 和を大事にする生徒
どんな集団でも人間関係を構築できる生徒
- 本年度生徒会の方向
新校舎での生活に向け、伝統の上に新たな一歩を踏み出す生徒

《教育課題と重点》 協働的な学びを位置づけ、基礎基本の確実な定着を図る

重点1 学びづくり 智を交換し合う必然性の高い課題によって協働的な学びを促す	重点2 生活づくり 「プライドファイブ」を生徒とともに徹底し安定した生活を構築する	重点3 「働き方改革」の推進 学校・教員の担うべき業務を明確にし、長時間勤務という働き方を改善する
--	---	---

《教育システム》

【教師の協働による授業改善・学力向上システム】

- A) 学力向上テーマ「協働的な学びを通した確かな学力の定着」
- (1) 授業改善
 - ・追究課題が明確な授業
 - ・考えをもち、聴き合い・話し合いのある授業
 - ・学びの振り返りのある授業
 - (2) 家庭学習改善
 - ・授業内容とリンクした自ら行う家庭学習
 - (3) 学ぶ場の設定
 - ・つばさタイム、水スペ(自学)の実施
 - ・定期テスト前学習相談日の実施
 - ・通常学級における特別支援教育の充実
〔学びの教室〕との連携
- B) 全校研究テーマ「生徒一人ひとりが聴き合い・話し合いを通して考えを深めることができる授業づくり」
- ・テーマに沿った、教科研究体制での実践
 - ・グループ研究体制による研鑽
- C) 戸上中学校区連携教育プラン
- ・4小学校との連携(入学前指導)の充実
- ☆授業改善や学力向上を評価する検証方法
- ・研究授業で全国学調の結果をもとにした改善
 - ・NRTの結果に基づく授業改善
 - ・授業評価アンケートでの肯定率を生徒用①で全学年90%以上(1～2学期)、職員用①で80%以上(11月)、保護者用③で65%以上(12月)
 - ・家庭学習時間1時間以上を、保護者アンケートで60%以上(12月)

【家庭、地域等との協働による生徒・学校支援システム】

- A) 生徒会活動や学習活動を通じた地域とのかかわり
- ・千曲川クリーン作戦など地域行事への参加
 - ・生徒会企画によるゴミ拾いなどの実践
- B) キャリア教育・部活動等の充実推進
- ・職業講演会、職場体験学習の実施
 - ・外部指導者と連携した部活動の充実と各種行事への参加やボランティア活動
 - ・学級、学年、学校通信、HPの充実
 - ・安定した生活を支援するための外部機関(市のこども未来課や福祉課、児童相談所、NPO法人、フリースクール等)との連携
- C) コミュニティスクール「チームつばさ」の推進
- ・地域とともに進める学校づくりをめざし、CS「チームつばさ」による支援活動を、見通しを持って計画的に推進する
- D) 校舎改築に伴う諸事業の外部機関との連携推進
- ・校内組織の校舎改築委員会、地域の戸倉上山田中学校改築委員会、市の教育施設係の連携による計画的な推進と情報発信
- E) 働き方改革の推進
- ・会議の精選と効率化を進める
 - ・ICTを活用した業務の効率化を進める
 - ・定時退勤日を月2回位置づける
 - ・CS「チームつばさ」を活用した部活動の構築
- ☆安定した学校生活を評価する検証方法
- ・学校生活アンケートで、「明るく元気な挨拶」の肯定率が生徒用、保護者用ともに70%以上(12月)
 - ・学校からの情報発信について、保護者アンケートによる肯定率60%以上(12月)
 - ・職員内部評価で勤務縮減の肯定率60%以上(11月)

＜今年度の合言葉＞

『魂智和』
魂を込め、智を磨き、
和を大事にする

＜生徒会中心に、伝統的に引き継いできた『プライドファイブ』＞

- ー 日本一の応援
- ー 元気あふれる「あいさつ」と「部活動」
- ー 完全無言清掃
- ー 心をそらえる(つばさ祭、無言入退場、合唱、くつ)
- ー 地域に感謝